

決算説明会



株式会社 長大

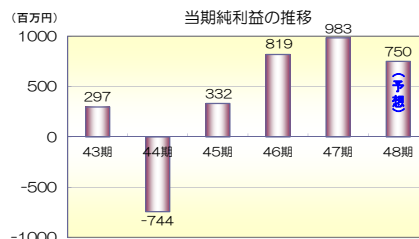
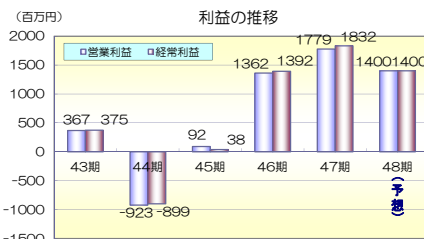
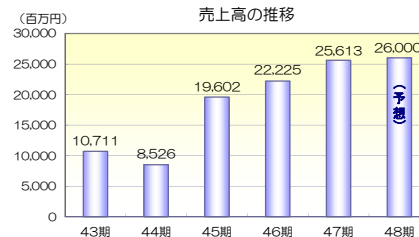
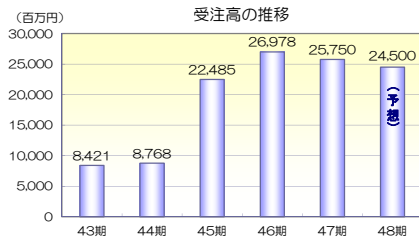
2014年12月1日

最近の営業成果

～2014年9月期（長大47期）～



◆業績及び今後の見通し（連結）



◆47期損益状況（連結）

- 受注高 : 257億円 (前期比 95.4%)
- 売上高 : 256億円 (前期比 115.1%)
- 営業利益 : 17億円 (前期比 130.6%)

<長大グループの取り組み>

- 国内の基幹事業における **プロポーザル・総合評価方式の競争力を高める活動の継続**
- 国内外における **新エネルギー・環境分野への進出**
- **東南アジアでの市場の拡大**
ベトナム現地法人 **CHODAI & KISO-JIBAN VIETNAM**

◆47期損益状況（個別）

- 受注高 : 127億円（前期比 86.8%）
- 売上高 : 126億円（前期比 110.0%）
- 営業利益 : 4億円（前期比 81.8%）

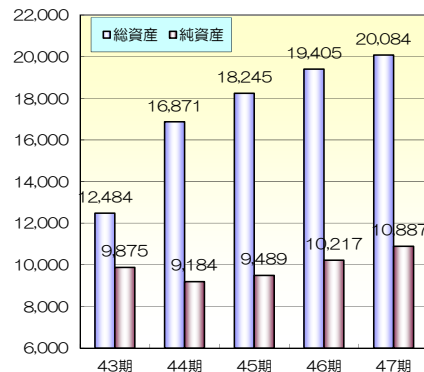
◆ 順調な国内受注を受け増収

<国内受注増加の要因>

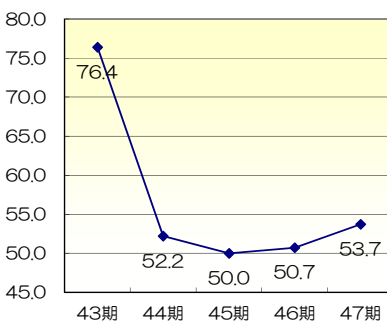
- 販売、技術の連携によりプロポーザル・総合評価方式の特定率が向上

◆財務状況（連結）

(百万円) 総資産・純資産の推移



(%) 自己資本比率の推移



今後の経営計画

◆48期運営基本方針

「受注」「品質」「事業開拓」そして「社員の活力向上」

—技術で社会に貢献し続ける強靱で魅力的な企業集団へ—

- 48期は中期経営計画の2年目
～ 改革と成長を続ける長大グループの確立 ～
- 47期の業績も総じて好調に推移
- ➔ 48期のグループ運営は47期の対応方針を踏襲するとともに一層の充実を目指す

◆グループ運営の取組み姿勢

- 全国的防災・減災とインフラ老朽化対応等、国土強靱化の事業への取組み
- グループシナジーの追及
- 新事業方式への先駆的取組み
- 新領域事業を基幹事業へ成長
- 海外営業戦略の展開

◆48期の経営課題と対応方針 (1/5)

「受注の確保」・・・着実な受注拡大が持続成長のベース

基幹事業（構造事業、道路事業、社会事業）

- 蓄積された高い技術的評価をベースに提案力を向上させ、受注拡大
- 伸び悩む分野・地域、今後市場拡大を目指す事業は人材面や組織面での挺入れ
- 全社横断的マーケティングを強化する体制整備
→ **マーケティング戦略室**

◆48期の経営課題と対応方針 (2/5)

海外事業

- 海外現地法人による事業の現地化
長大コリア、ベトナム現地法人CKJVN
シンガポールBuro社との資本提携
- 国内外でのM&Aを積極的に進め、引き続き海外事業分野を拡大

◆48期の経営課題と対応方針 (3/5)

「品質の向上」・・・業務量が多い中、品質に一層の注力を

- 必要な人材を確保し、業務遂行体制を整備
- 業務マネジメントの徹底と高度化を継続
- 顧客に積極的に働きかけるコミュニケーションを継続
- ミス等による業務リスクを最小化すべく全社的組織を整備 → 事業継続マネジメント室

◆48期の経営課題と対応方針 (4/5)

「事業開拓」・・・将来のために時代の要請を先取りする
事業展開の強化に取り組む

- 小水力発電事業の更なる推進
- M&Aや資本提携を通じ、基幹分野以外の事業領域の拡大



建築、港湾、河川防災等の新領域事業、再生可能エネルギー事業の開拓、海外での地域振興

- PFI/PPP事業の拡大

◆48期の経営課題と対応方針 (5/5)

「社員の活力向上」・・・社員の活力を生み出す職場環境に

- 待遇と就業環境の改善
- 採用の多様化
- 社員の就業上の課題に対する制度支援
- キャリアステージに応じた教育・研修制度の拡充

◆信頼される長大グループの確立

グループ企業各社が相互に「和」を保ちながら、それぞれの役割を「担い」新たな道を「開」いてきた。



グループ企業各社が、相互に協力し、役割を分担し、前に進むことが重要

- 相互に「信じる」
- 「信頼」できる成果
- 社会に「信用」される
- 自らの力を「信じ」、企業の力を「信じ」、グループの力を「信じ」持続的発展を目指す

第47期 決算報告

お手元の決算短信をご覧ください

事業トピックス

◆事業推進戦略に基づく事業展開



事業軸 I : 国土基盤整備

既存土木分野を軸とし、長大専門技術を融合させ、市場の変化に対応して成長を目指す。

事業軸 II : 環境・新エネルギー

市場の今後の成長分野、環境・新エネルギー分野での市場の拡大を目指す。

事業軸 III : 医療・福祉・建築

市場の今後の成長分野、医療・福祉・建築分野での市場の拡大を目指す。

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

2013年受注のトルコ国長大橋の施行監理業務 建設が順調に進行



イズミット湾横断橋主塔



第3ボスボラス橋主塔

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

日本一の人道吊橋「箱根西麓・三島大吊橋」 建設進行中



完成イメージと現在の架設状況

- 本橋は民間資本による事業で、計画、設計、景観検討を当社が担当
- 支間長400mは完成すると日本一の人道吊橋

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

日本最大規模のベルタイプ基礎 「九島大橋」建設進行中

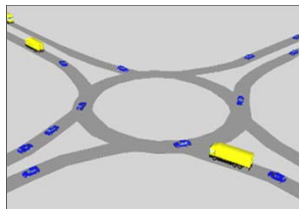


- 当社は本橋の予備設計から詳細設計までを担当
- 水深約30mの箇所に計画する橋脚および基礎構造が特徴

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

先進分野に積極的に関わり、全国各地の ラウンドアバウトの導入に関する業務を担当

【ラウンドアバウトに関する保有技術】



シミュレーションによる検証



バーチャルリアリティを用いた
ドライビングシミュレーション

- 平成26年9月の改正道路交通法の施行で「環状交差点」として法的に定められ、今後の普及が期待
- 蓄積したノウハウを活かしてラウンドアバウトの導入に関する業務を受注

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

2020年東京オリンピックを視野に 無電柱化事業(電線共同溝)の受注を拡大



- 景観や防災に大きな効果を発揮する無電柱化
- 全国的にも積極的に進めようとする機運が高まっており、無電柱化に関する法律の制定の動きが具体化しつつある

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

港湾、河川防災事業の受注を着実に伸ばす



緩傾斜河岸の詳細設計

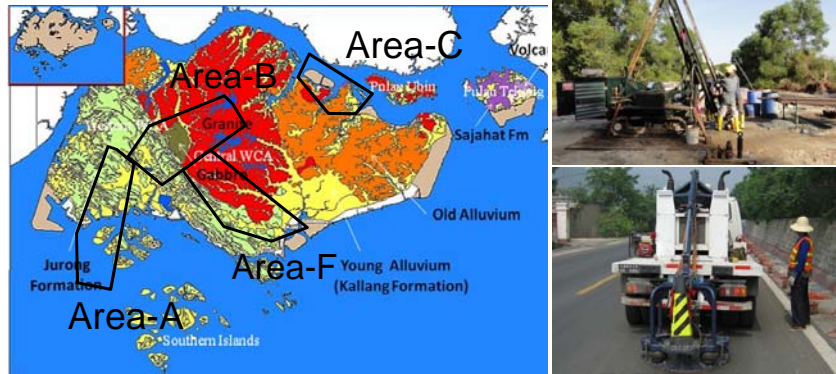


海岸堤防の嵩上げ設計

- 実質1年目の「港湾、河川防災部」、目標を上回る売上げを達成
- 技術力、組織力を成長させ、早期の事業部化を目指す

事業軸 I : 国土基盤整備

広域地質調査（海外非ODA業務）を
シンガポール政府より連続受注（基礎地盤）



- シンガポールの「地質・地史の見直し」と「地下空洞適地探査」を目的に、深度200m、80か所のボーリング調査と弾性波探査を4地区で実施中



25

事業軸 I : 国土基盤整備

ため池の耐震性確認の調査・解析・対策設計
・ハザードマップ作成（基礎地盤）



- ため池は地震に弱い構造物。東日本大震災で約2000箇所が崩壊
- 国は全国のため池の耐震性を確認して耐震対策工事を行うと発表



26

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

新事業の柱として「公共インフラ情報管理事業」 長大と連携体制で推進(長大テック)



- 道路施設の長寿命化実現の基礎となる点検調査業務
- 道路施設に関する最適なデータベース化と、そのデータを活用した的確な「長寿命化修繕計画」を策定

事業軸Ⅱ：環境・新エネルギー

小水力発電事業をアジアで展開中 比国での実績を尼国へ



フィリピン国での事業箇所

尼国で現地パートナーとの基本契約締結

- フィリピン国のアシガ小水力発電は2015年末、ワワ川小水力発電は2018年事業開始予定
- フィリピン国の実績を活かし、インドネシア国でも小水力発電事業案件を拡大中

事業軸Ⅱ：環境・新エネルギー

油で汚染された土壌や地下水を浄化するシステム 「3N注入工法」を開発(基礎地盤)



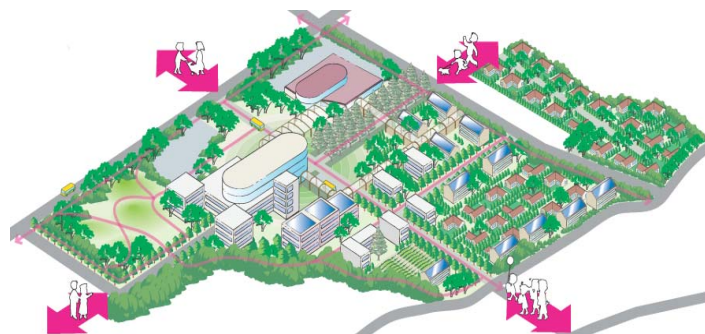
- GSや燃料タンク施設など油で汚染された土壌や地下水を浄化
- 土の掘り起こしが不要、現地に存在する微生物の使用により、低コストで環境にやさしく安全な工法を実現



29

事業軸Ⅲ：医療・福祉・建築

社会インフラ整備から公有地活用戦略の立案まで PRE/PPPで「まちづくり」を支援



奈良県総合医療センター跡地活用(参考イメージ)

- 公的不動産の官民連携によるまちづくり支援
- 奈良県の県立病院跡地再開発や八木駅前市有地再開発などの業務を受注

30

事業軸Ⅲ：医療・福祉・建築

建築設計からまちづくりまで 幅広く全国的に展開



宮崎大学創立330記念講堂



黒潮町文教施設津波移転対策基本計画

- 地元産木材を利用した木造建築の設計、文教施設の高台移転計画等、我が国の課題の一つである「地域経済の循環やまちづくり」に直結する業務の受注を拡大



31

事業軸Ⅲ：医療・福祉・建築

オンデマンド型バス運行支援システムで高齢者移動を支援 導入自治体を着実に拡大(順風路)



- 順風路を中心とした長大グループの事業軸Ⅲの中心事業の一つ
- 現在31箇所の自治体に導入（2014年9月時点）
- デマンド交通を導入する市町村数を2013年度311市町村から2020年度700市町村へ（国土交通省「交通施策基本計画（原案）」）



32

事業軸Ⅲ：医療・福祉・建築

東京大学と民間企業の産学連携共同研究 「ヘルスケアイノベーションプロジェクト」に参加(順風路)



- 各種計測サービスや専門家のアドバイスを受けられる「まちの健康研究所『あし・た』」が千葉県柏市に2014年9月にオープン
- 順風路は、お客様の会員情報や測定データ、アンケート回答結果等を蓄積・管理する仕組みの構築を担当



33

事業軸水平展開

国内PFI事業のSPC構成員として 初の事業参画



- 「岡崎市火葬場整備運営事業」において、特別目的会社（SPC）の構成員として参画
- SPC管理、事業の安定継続に資する業務モニタリング等、長期間に亘る事業マネジメントを担当



34

ご清聴ありがとうございました

